

平成25年3月

山口県の治安等に関するアンケート調査の結果

山口県警察本部
生活安全企画課

1 調査目的

県民の犯罪に対する不安感、犯罪情報や自主防犯活動などに関するアンケート調査を行うことにより、いわゆる「体感治安」を数値的に測るとともに、防犯に関する県民意識の実態を把握し、犯罪抑止総合対策を推進する上での資料とするもの。

2 調査対象

各警察署（16警察署）を通じ、県民 1,007人

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13	70	119	88	85	85	85	1	546
女性	13	59	87	73	75	72	78	1	458
性別不明				1	1	1			3
計	26	129	206	162	161	158	163	2	1,007

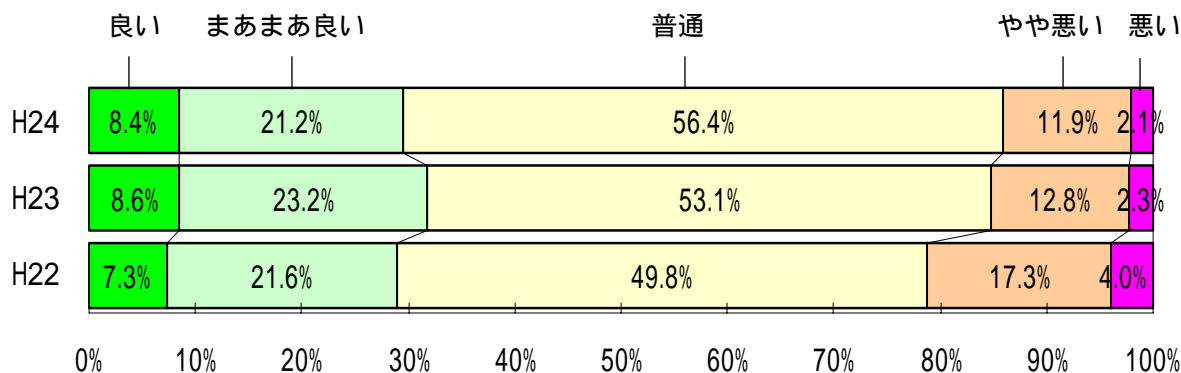
3 調査期間

平成24年11月15日～12月14日(1か月間)

調査結果

【治安に関する質問】

問1 あなたは、現在の県内の治安について、どのように感じますか

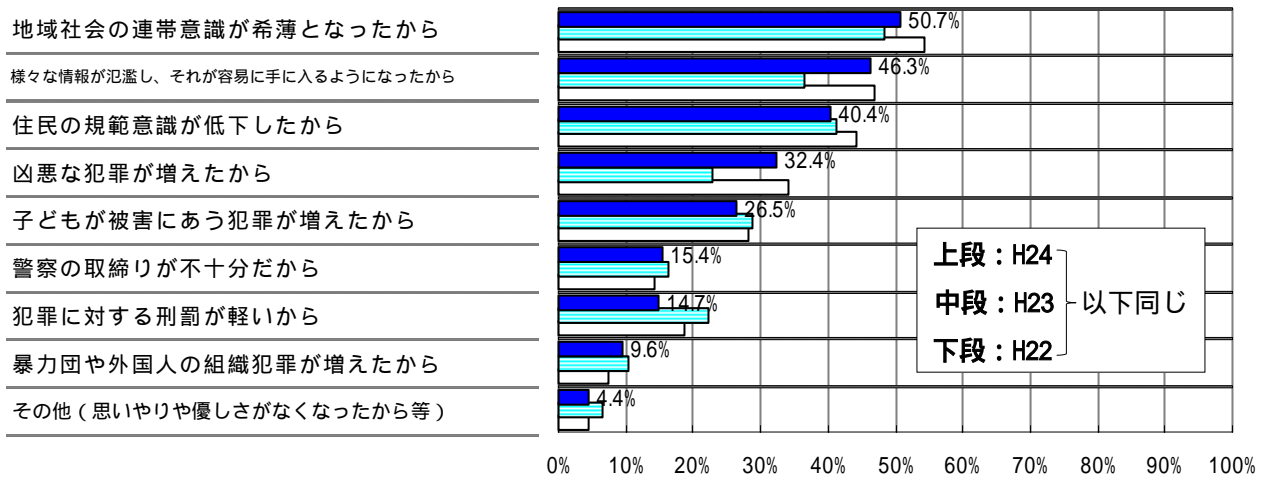


「良い」「まあまあ良い」の合計は29.6%で、前年に比べ2.2ポイント減少、「良い」「まあまあ良い」に「普通」を合わせた割合は86.0%で、前年に比べ1.1ポイント増加、「悪い」「やや悪い」の合計は14.0%で、前年に比べ1.1ポイント減少した。

なお、『平成24年度県政世論調査結果』による「犯罪が少なく、治安に対する不安が小さいか」という問いに対する回答のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は、66.0%、「どちらともいえない」を合わせた割合は90.1%であり、本調査よりも高い割合を示している。

平成24年に内閣府が実施した『治安に関する特別世論調査』では、「現在の日本が治安が良く、安全で安心して暮らせる国だと思うか」との問いに対する回答は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が59.7%であった。

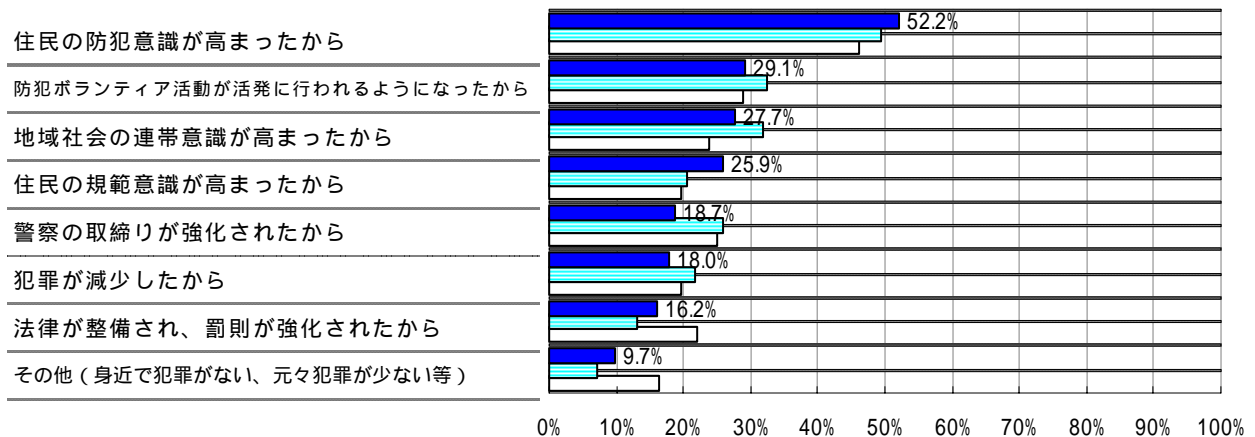
小問1-1 治安が悪いと思う原因は何だと思いますか（3つまで回答）
治安が「悪い」「やや悪い」と回答した方対象



「地域社会の連帯意識の希薄化」や「住民の規範意識の低下」を原因と考える割合が、「凶悪な犯罪が増えたから」や「子どもが被害にあう犯罪が増えたから」などの『犯罪増加』を原因と考える割合よりも高い。

前年に比べ「様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから」との回答が9.7ポイント増加、「凶悪な犯罪が増えたから」との回答が9.5ポイント増加、「警察の取締りが不十分だから」との回答が0.9ポイント減少、「犯罪に対する刑罰が軽いから」との回答が7.5ポイント減少した。

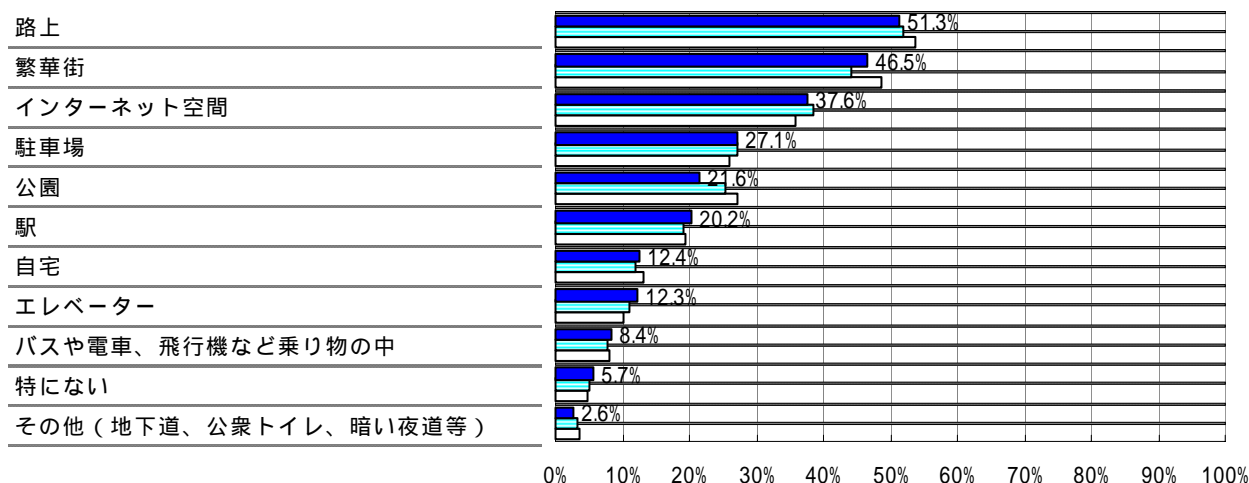
小問1-2 治安が良いと思う理由は何だと思いますか（3つまで回答）
治安が「良い」「まあまあ良い」と回答した方対応



「住民の防犯意識の高まり」や「防犯ボランティア活動の活発化」を理由と考える割合が、『犯罪減少』を理由と考える割合よりも高い。

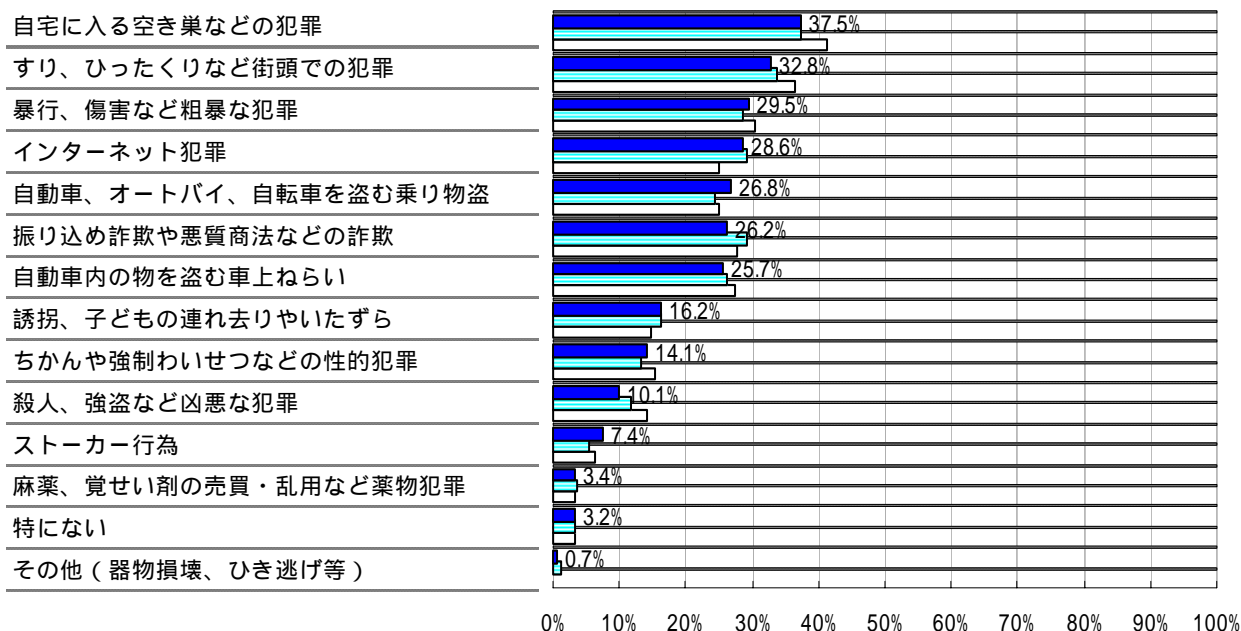
前年に比べ、住民の「防犯意識の高まり」や「規範意識の高まり」を理由とする回答が増加しており、防犯意識、規範意識が高まっていることがうかがえる。

問2 あなたが、自分や身近な人が犯罪の被害に遭うかもしれないと不安を感じるのはどのような場所ですか(3つまで回答)



ほぼ半数の方が「路上」と「繁華街」に不安を感じている。
 前年に比べ「インターネット空間」に不安を感じている割合が0.9ポイント減少したものの、高い割合を維持している。
 年代別で見ると、「路上」に不安を感じている割合は、50代(58%)、60代(55%)、30代(52%)の順に高くなっており、「繁華街」に不安を感じている割合は、40代(60%)、30代(50%)、50代(47%)の順に高くなってきている。

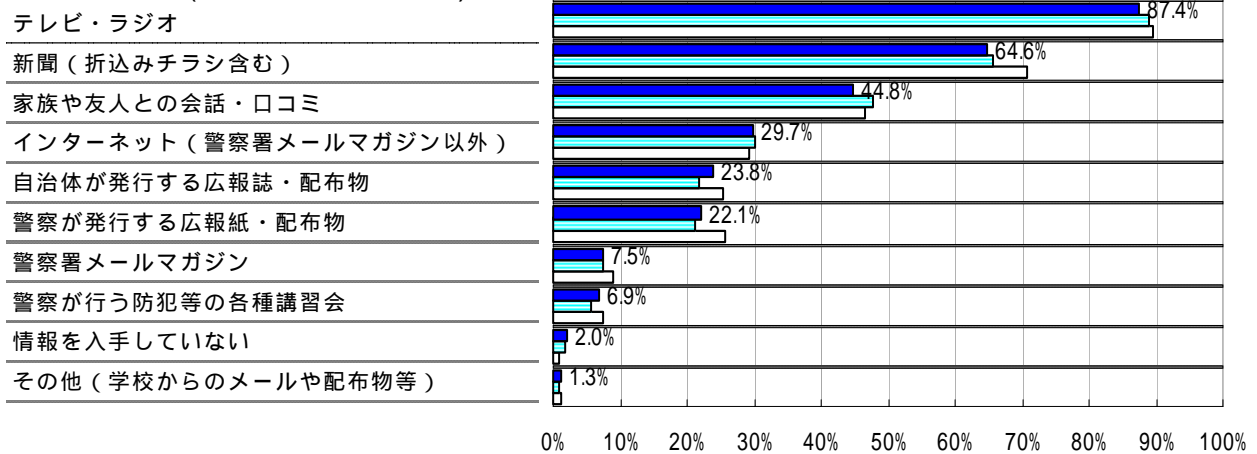
問3 あなたが、自分や身近な人が犯罪の被害に遭うかもしれないと不安を感じるのはどのような犯罪ですか(3つまで回答)



「自宅に入る侵入犯罪」が37.5%と最も高く、次いで「すり、ひったくりなどの街頭犯罪」(32.8%)、「暴行、傷害などの粗暴犯」(29.5%)の順となっており、凶悪犯罪よりも「自分に身近な犯罪」が上位を占めている。
 前年に比べ、「ストーカー行為」に不安を感じている割合が1.9ポイント増加、「振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺」の割合は2.9ポイント減少した。

【犯罪情報に関する質問】

問4 あなたは、どのような方法で犯罪の発生情報や防犯に関する情報を入手していますか（いくつでも回答可）



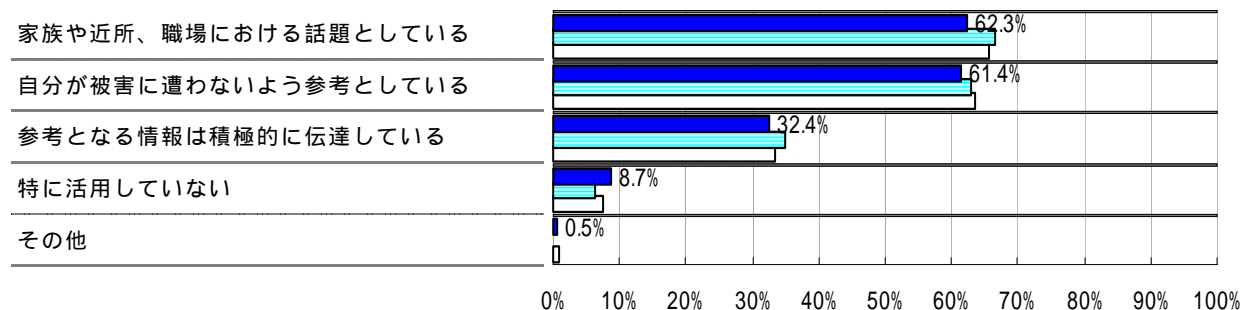
「テレビ・ラジオ」や「新聞（折込みチラシを含む）」からの入手が、男女別や年代別を問わず高い割合となっている。

警察広報の中で最も利用されている「警察が発行する広報紙・配布物」は22.1%で、前年に比べ0.9ポイント増加、警察署メールマガジンについても0.1ポイント増加した。

「インターネット」からの情報入手は、年代が低いほど高くなっている。

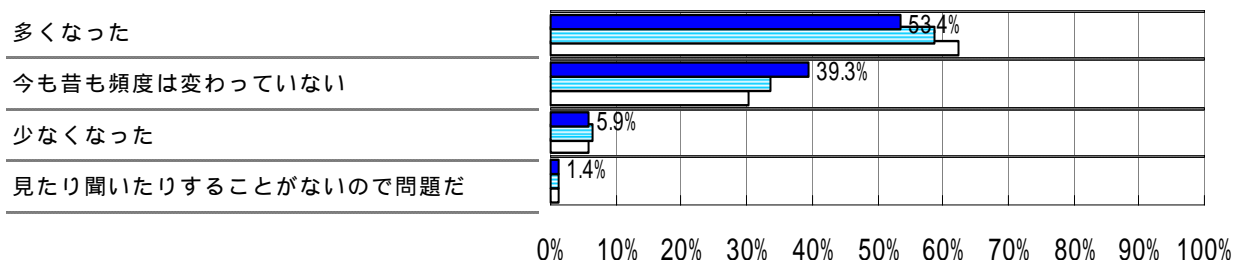
問5 あなたは、入手した情報をどのように活用していますか

「情報を入手していない」と回答した方を除く



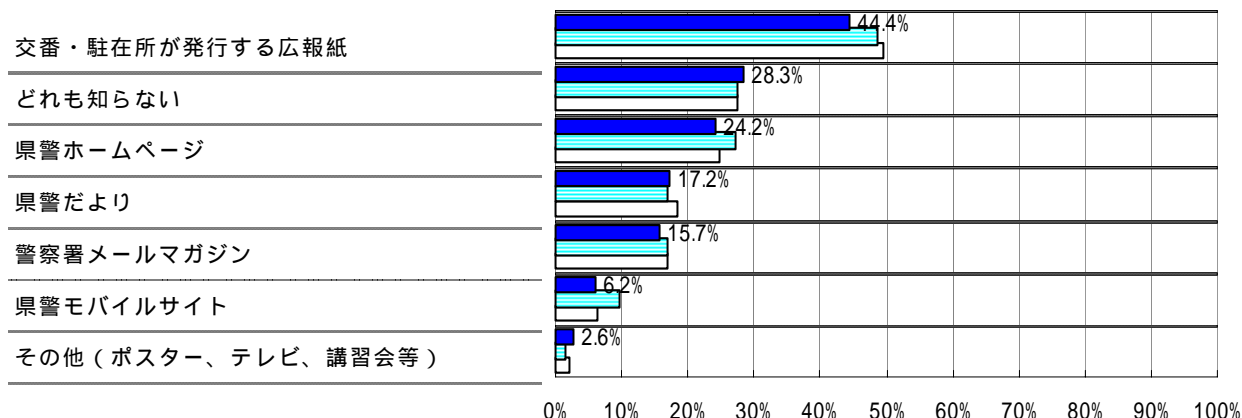
防犯情報を入手した60%以上の方が、「家族や近所、職場における話題」や「被害防止の参考」にしており、また30%以上の方が、入手した情報を積極的に伝達する役割も担っている状況が認められる。

問6 あなたは、最近、防犯情報を見たり聞いたりする頻度について、以前と比べてどのように感じていますか



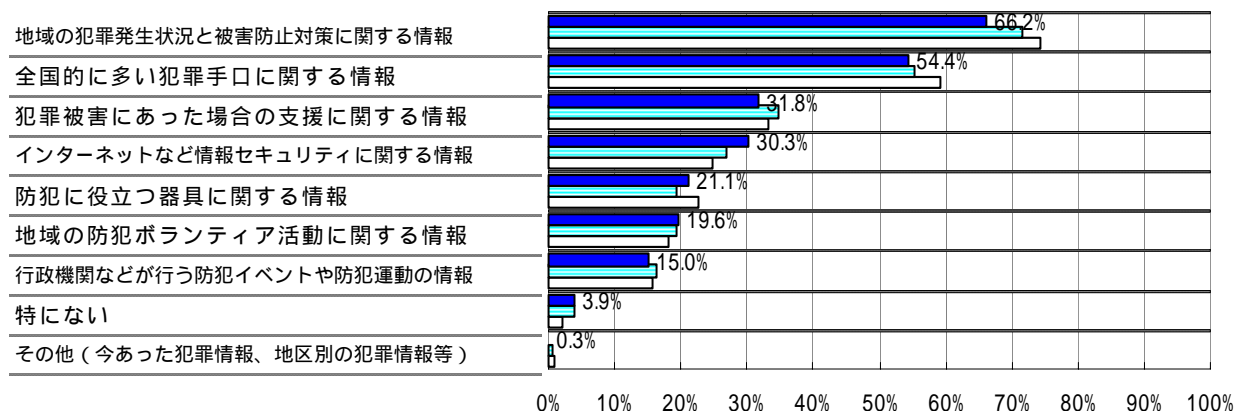
50%以上の方が「多くなった」と感じている一方で、「今も昔も頻度は変わっていない」と感じている方が約40%、「少なくなった」「見たり聞いたりすることがないので問題だ」と感じている方が約10%おられるなど、今後の情報発信の方法に工夫が必要である。

問7 あなたは、警察からの情報提供について、どのようなものをご存じですか
(いくつでも回答可)



「交番・駐在所が発行する広報紙」が44.4%と最も高く、次いで「どれも知らない」(28.3%)、「県警ホームページ」(24.2%)の順となっているが、前年に比べ「交番・駐在所が発行する広報紙」が4.3ポイント、「県警ホームページ」が3.0ポイント減少しており、県民に広く周知する工夫が必要である。

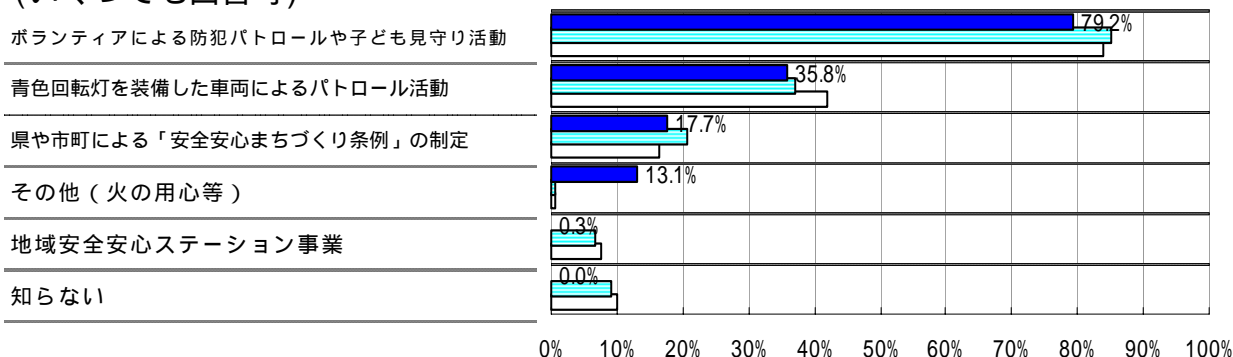
問8 あなたは、犯罪の発生情報や防犯に関する情報として、どのような情報が提供されたら良いと思いますか(いくつでも回答可)



「地域の犯罪発生状況」等の自分に身近な犯罪情報や「全国的な犯罪手口情報」等の犯罪手口に関する情報を求める割合が高い。

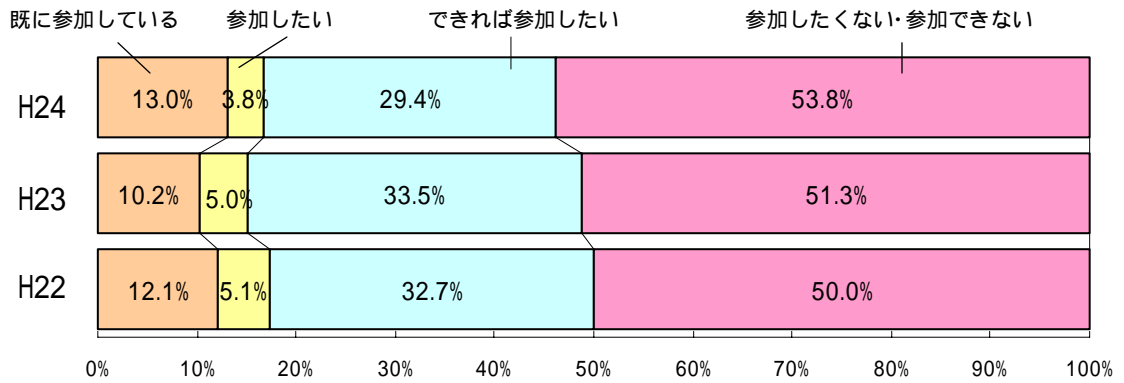
【自主防犯活動に関する質問】

問9 あなたは、安全で安心なまちづくりのために行われている活動をご存じですか
(いくつでも回答可)



「ボランティアによる防犯パトロールや子ども見守り活動」は79.2%と認知度が非常に高く、また、「青色回転灯を装備した車両によるパトロール活動」についても、35.8%の県民が認知している。

問10 あなたは、防犯ボランティア活動に参加していますか

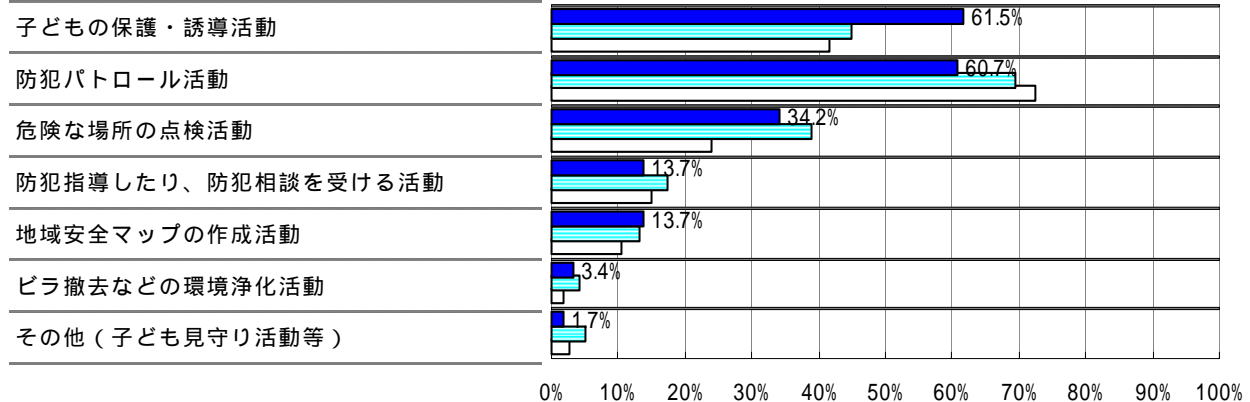


「参加したい」「できれば参加したい」の合計は33.2%、「参加したくない・参加できない」の合計は53.8%となっている。

年代別で見ると「既に参加している」は70歳以上が37%と最も高く、次いで60代(18%)、50代(13%)、40代(10%)、30代(4%)、29歳以下(1%)の順となっており、若い年代ほど参加する割合が低く、現役世代や若い世代を取り込む取組が課題である。

小問10-1 どのような活動に参加していますか(いくつでも回答可)

「既に参加している」と回答した方対象

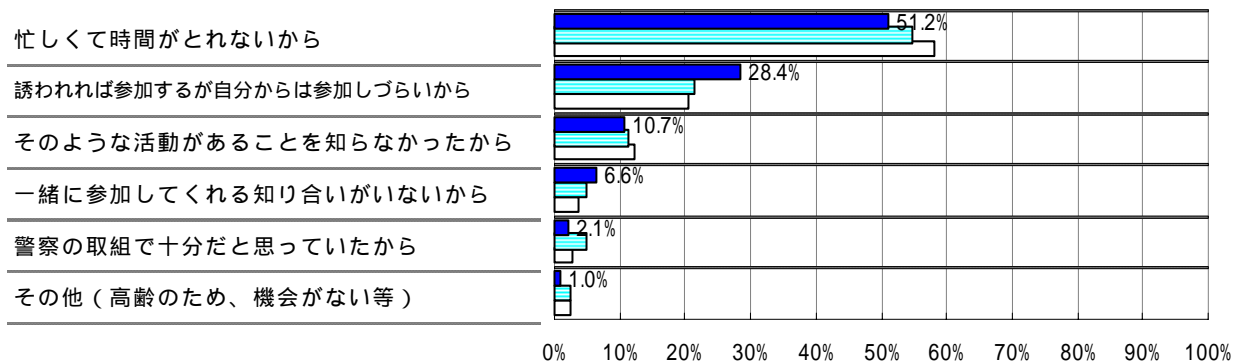


「子どもの保護・誘導活動」が61.5%と最も高く、次いで「防犯パトロール活動」(60.7%)、「危険な場所の点検活動」(34.2%)の順となっている。

前年に比べ「子どもの保護・誘導活動」との回答が16.6ポイント増加しており、子どもの安全に対する意識が高まっていると認められる。

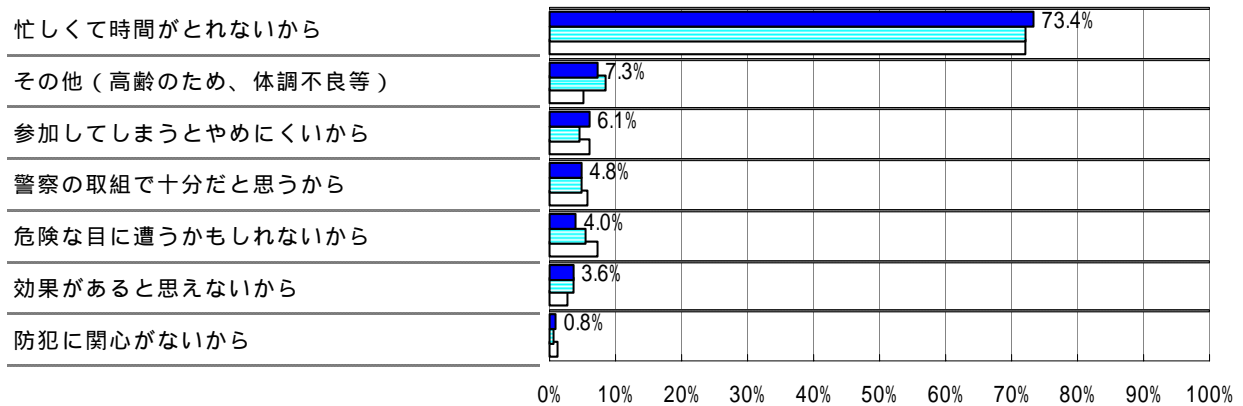
小問10-2 現在、参加していない理由は何故ですか(一番大きな理由を回答)

「参加したい」「できれば参加したい」と回答した方対象



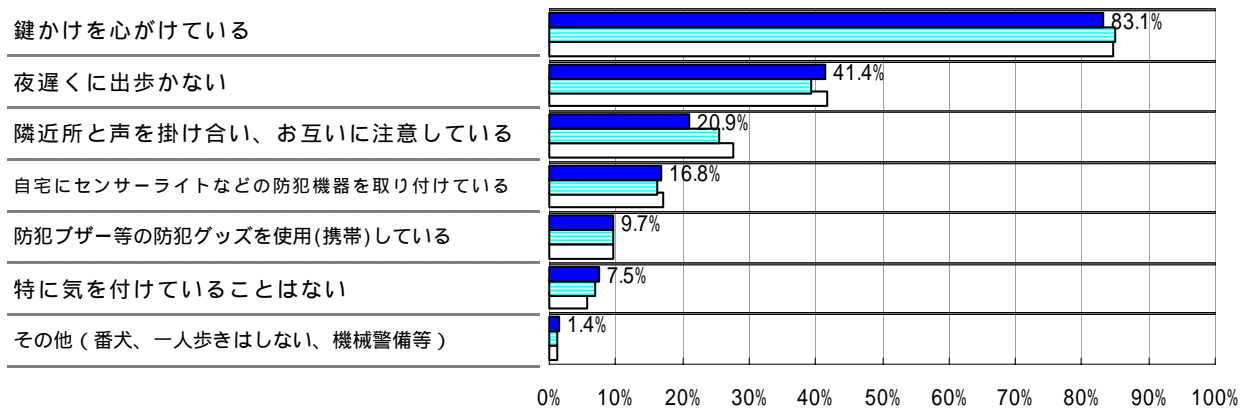
50%以上の方が「忙しくて時間がとれないから」と回答している一方で、「誘われれば参加するが自分からは参加しづらいから」「そのような活動があることを知らなかったから」「一緒に参加してくれる知り合いがないから」という『きっかけ』さえあれば参加すると考えられる回答の方が45.7%にのぼっている。

小問10-3 参加したくない・参加できない理由は何故ですか(一番大きな理由を回答)
「参加したくない・参加できない」と回答した方対象



70%以上の方が「忙しくて時間がとれないから」と回答しており、年代別で見ると、30代(82%)、40代(81%)、50代(78%)の順に、子育て世代の割合が高くなっている。

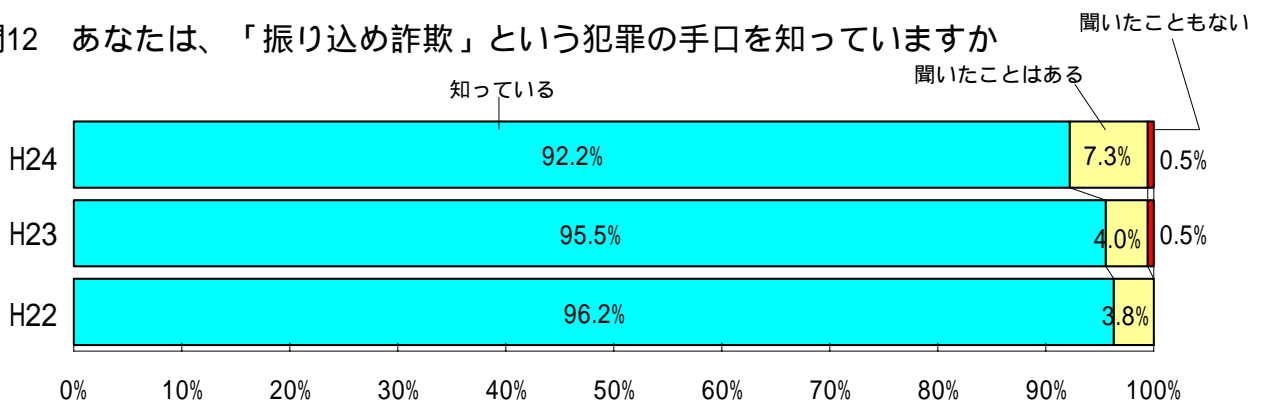
問11 あなたは、自分や家族が犯罪被害に遭わないために、気を付けていることがありますか(いくつでも回答可)



「鍵かけを心がけている」が83.1%と最も高く、次いで「夜遅くに外出かない」(41.4%)、「隣近所と声を掛け合い、お互いに注意している」(20.9%)の順となっている。「隣近所と声を掛け合い、お互いに注意している」が年々減少しており、地域の絆や連帯意識を醸成するための取組が課題である。

【振り込め詐欺に関する質問】

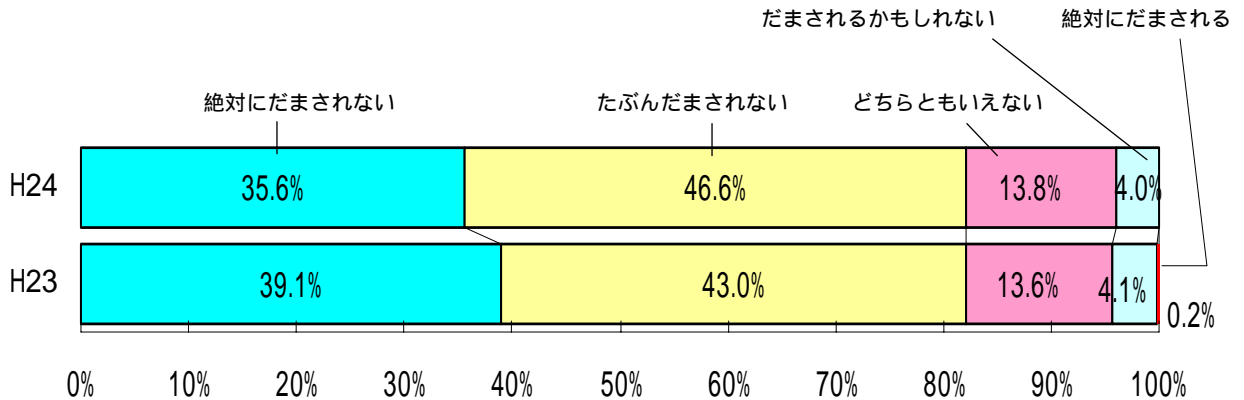
問12 あなたは、「振り込め詐欺」という犯罪の手口を知っていますか



「知っている」「聞いたことはある」の合計は99.5%で、ほとんどの方が振り込め詐欺の手口等を認知している一方で、0.5%の方が「聞いたこともない」と回答しており、情報の行き届かない方への対策が課題である。

小問12-1 もし、あなたに「振り込め詐欺」の電話がかかってきたとしたら、だまされ
ないと思いますか。

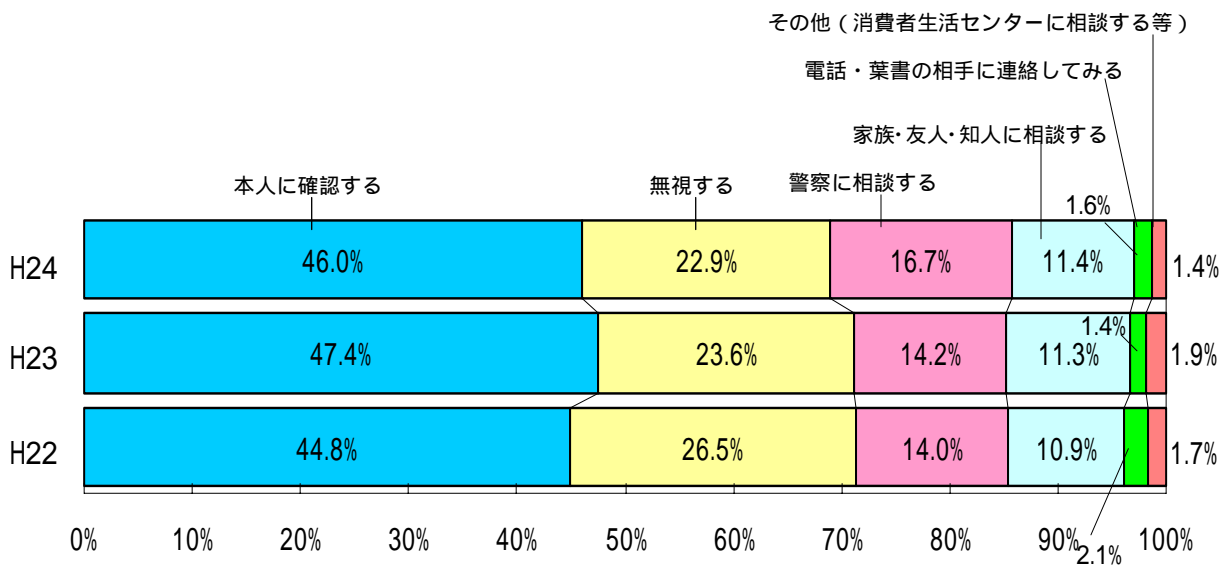
振り込め詐欺を「知っている」と回答した方対象



「絶対にだまされない」「たぶんだまされない」の合計は82.2%で、前年に比べ0.1ポイント増加した。「どちらともいえない」「だまされるかもしれない」と不安を感じている方は17.8%で、年代別で見ると、40及び50代(21%)、60代(20%)、30代(17%)の順に高くなっており、70歳代以上(12%)が一番不安を感じていない結果となった。

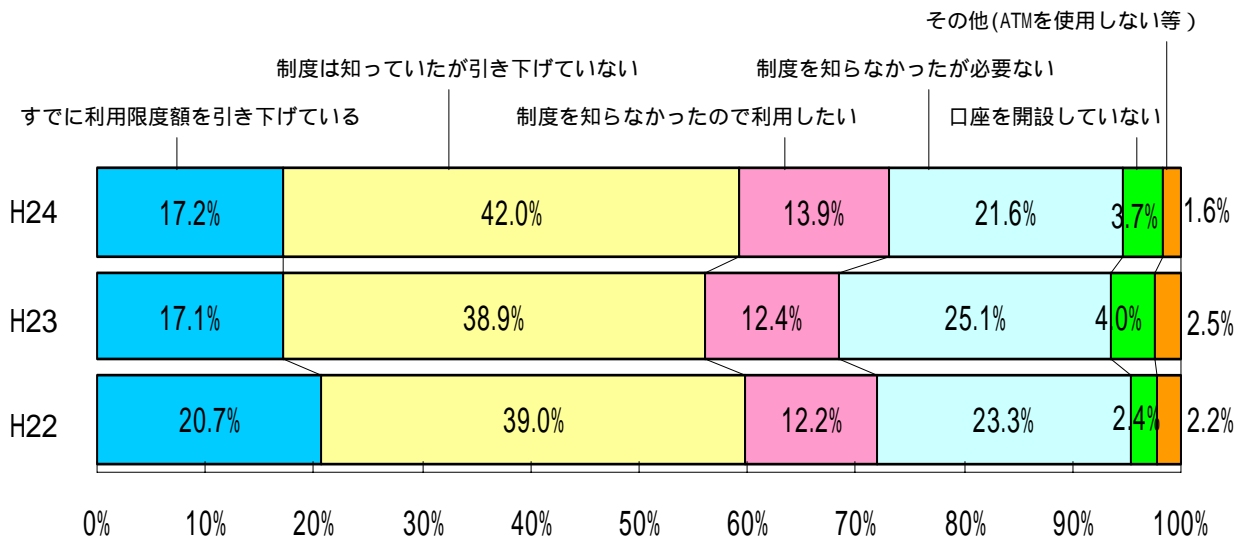
小問12-2 あなたは、「振り込め詐欺」と思われる不審な電話や葉書などを受けた場合どうしますか(最も近い1つを回答)

振り込め詐欺を「知っている」と回答した方対象



「本人に確認する」が46.0%と最も高く、次いで「無視する」(22.9%)、「警察に相談する」(16.7%)の順となっている。
前年に比べ「電話・葉書の相手に連絡してみる」が0.2ポイント増加しており、被害に遭う可能性の高い対応であることから、更なる被害防止広報の徹底が必要と認められる。

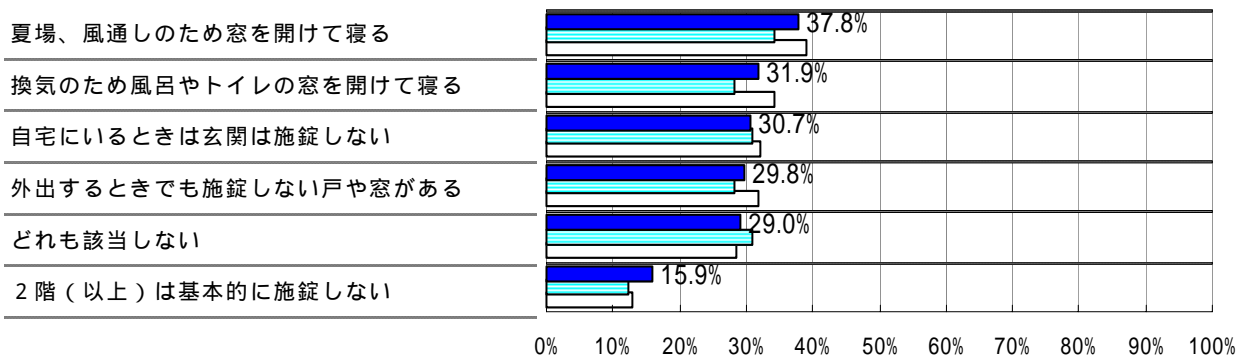
小問12-3 各金融機関では、「振り込め詐欺」の被害を少なくするため、ATMの利用限度額を引き下げることができるようになってはいますが、その制度を知っていますか。また、利用していますか。
振り込め詐欺を「知っている」と回答した方対象



半数以上（59.2%）の方（グラフの左側2項目の合計）が制度を認知しているが、「すでに利用限度額を引き下げている」は17.2%にとどまっている。
「制度は知っていたが引き下げしていない」が42.0%と高いことから、更なる制度の広報と利用促進に向けた取組が必要と認められる。

【鍵かけに関する質問】

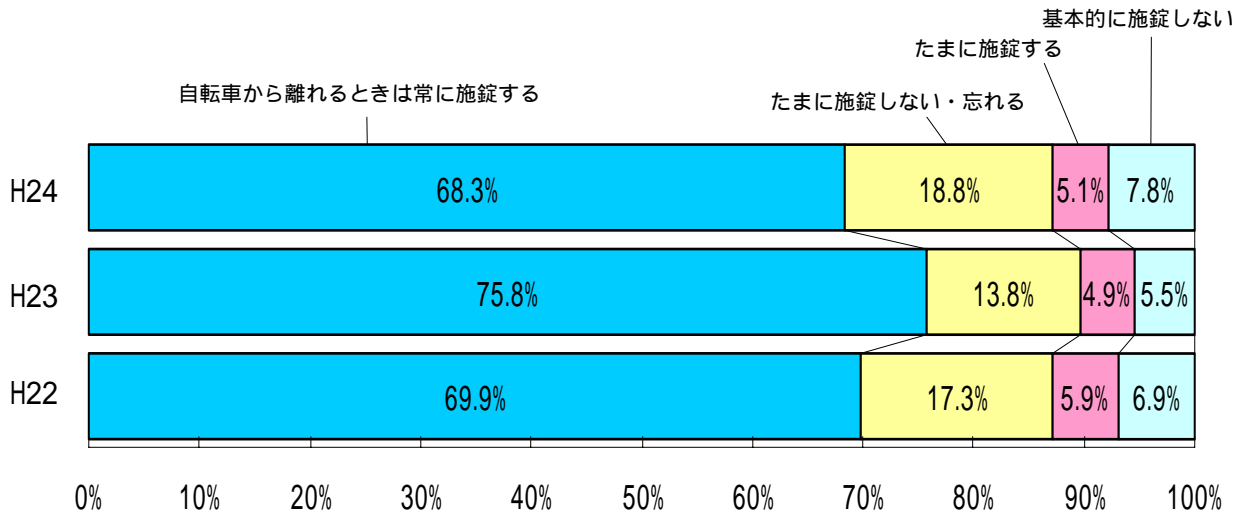
問13 あなたに該当すると思うもの全部を選んでください



「夏場、窓を開けて寝る」が37.8%と最も高く、次いで「換気のため風呂やトイレの窓を開けて寝る」（31.9%）、「自宅にいるときは玄関は施錠しない」（30.7%）の順となっている。

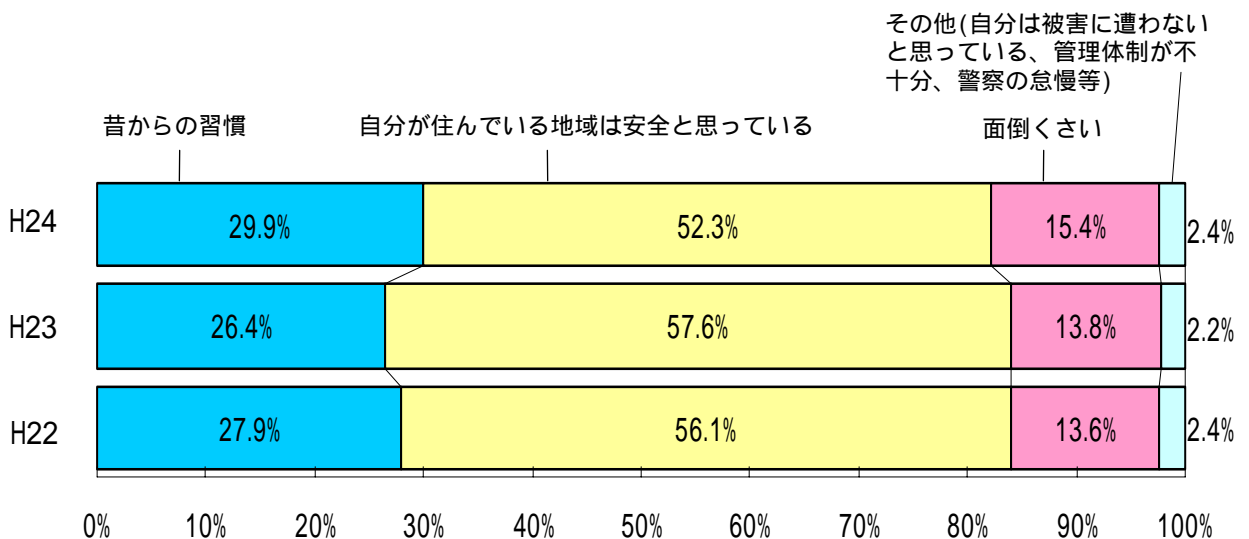
前年に比べ「夏場、窓を開けて寝る」「換気のため風呂やトイレの窓を開けて寝る」が3.6ポイント、「2階(以上)は基本的に施錠しない」が3.5ポイント、「外出するときでも施錠しない戸や窓がある」が1.7ポイントそれぞれ増加しており、施錠に対する意識が低くなっている結果となった。

問14 あなたは、自転車に施錠しますか。最も近い項目1つを回答してください。
 「自転車に乗らない」と回答した人を除く



自転車利用の方で「たまに施錠する」「基本的に施錠しない」の合計は12.9%で、12人に1人は無施錠で駐輪している。
 特に「基本的に施錠しない」を年代別で見ると、60代(17%)、40代(8%)、70歳以上(7%)、30代(6%)、29歳以下(5%)、50代(3%)の順に高くなっており、若い世代よりも年齢の高い世代の方が鍵かけの意識が低いとの結果であった。

問15 山口県内では、他の都道府県と比べ、侵入盗や自転車盗の無施錠での被害が多く発生していますが、その理由について、あなたが思う一番大きな理由を回答してください



「自分が住んでいる地域は安全と思っている」が52.3%と最も高く、次いで「昔からの習慣」(29.9%)、「鍵をかけるのが面倒くさい」(15.4%)の順となっている。
 問11で「自分や家族が犯罪被害に遭わないために、気を付けていること」との問に対し「鍵かけを心がけている」が83.1%であったが、無施錠での被害が多く発生しているのが実態であり、無施錠率改善に向けた対策の強化が必要と認められる。

平成24年の犯罪統計(山口県)

- ・ 無施錠箇所から侵入された侵入盗(住宅対象)被害の割合 65.3%
- ・ 無施錠での自転車盗被害の割合 76.7%

問16 警察の防犯活動（街頭で目にする犯罪被害防止のキャンペーンや防犯情報発信）について、ご意見・ご要望を記入してください

記入のあった74件の主なものを紹介

防犯情報・活動に関するもの 9件

「ストーカー被害の予防対策をしっかりとしてほしい」「外国人に対する防犯を積極的にお願いしたい」「これからも腹話術や寸劇などの分かりやすい方法で防犯情報を教えてほしい」「公園や主要道路への防犯カメラの設置」「朝夕の交通立哨は防犯に非常に効果があると思う」「老人世帯を戸別に訪問して振り込め詐欺防止対策をとる」「もっと外に立って防犯を呼び掛ける」「正しい情報を迅速に提供してほしい」など

パトロールの強化に関するもの 27件

「警察にもっと見回してほしい」「もっと取締りを強化してほしい」「徒歩での巡回もしてほしい」「パトロールが少ないと感じる」「自転車や徒歩で地域をくまなく見回してほしい」「パトカーでの見回りを増やしてほしい」「夜間の見回りを強化してほしい」「夏休み期間中のコンビニへの立ち寄りを増やしてほしい」など

その他意見・要望 21件

「防犯面から、外灯の少ない道路へ外灯を設置してほしい」「外灯が少ない。自治会などの地域に任せるのではなく積極的に対応してほしい」「未成年の禁煙防止対策をしてほしい」「近所で空き巣が発生した場合には、用心のため連絡してほしい」「児童・生徒への防犯講習は早いうちから必要だと思う」「高齢者を狙った高額商品の販売被害が田舎では多いと思う」など

叱咤、激励 14件

「地域の警察はあまり頼りにならない」「警察の活動はあまりぴんとこない」「戸別訪問に来られたことがないので高齢者方には訪問されているのか心配」「今は戸別訪問に全然来ない」「市民からの相談には誠意を持って対応してほしい」「心のこもった笑顔、言動をお願いしたい」など

交通取締り関係 3件

「夜間の改造バイクの取締りをしてほしい」「マナーの悪い少年のバイクの取締り強化」「窓に黒フィルムやカーテンをしている車に対して不安を感じる」